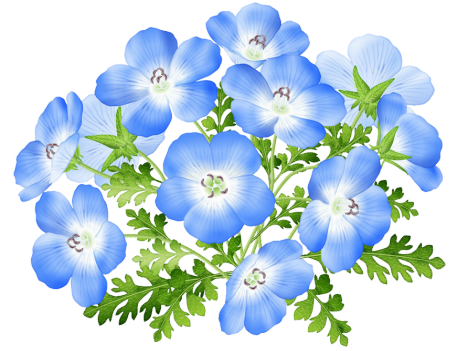




すこやか通信

新宿区立花園小学校
校長 青木 千恵
養護教諭



麻疹（はしか）感染拡大中

現在、東京都内で麻疹（はしか）の報告が増えています。麻疹は非常に感染力が強く、集団生活の場では特に注意が必要な感染症です。

麻疹は、せきやくしゃみの飛まつだけでなく、空気中にただようウイルスで感染する「空気感染」が特徴です。そのため、同じ部屋にいただけでも感染する可能性があります。また、手洗いやマスクだけでは十分に防ぐことができません。

はしかの感染力（インフルエンザとの比較）

インフルエンザ	はしか（麻しん）
潜伏期間 1~3日	潜伏期間 10~12日
感染人数 1~2人	感染人数 12~18人
予防 手洗い・マスク	感染経路 空気・飛まつ・接触
	予防 ワクチンが有効

はしかは非常に感染力が強いため、**予防接種の確認が大切です。**

決して軽くみてはいけない感染症

1950年頃はまだ予防ワクチンがなく「誰でも1度はかかる、たかが麻疹」などと言われていましたが、実際には年間1万人前後の子どもたちが亡くなっていました。

医療体制が整っている日本でも、麻疹は注意が必要です



約**1,000人**に**1人**が**脳炎**を発症

高熱やけいれん、意識障害などの重い症状を起すことがあります。



約**1,000人**に**1人**が**死亡**することがある

命に関わることがある、決して軽く見てはいけない感染症です。



肺炎などの合併症を起すこともあります

中耳炎、下痢、クループ症候群など、さまざまな合併症を引き起すことがあります。

(出典：厚生労働省・感染症情報 ※一般的疫学データ)

有効な予防は「ワクチン」

麻疹のウイルスを退治する薬はありません。そのためかかってしまったら対処療法が中心となります。

ここまで麻疹の詳細を読み、怖いと思っただ方も多いと思いますが、ワクチン接種で予防することができます。

1回接種：93~95%の予防効果

2回接種：97~99%の予防効果（ほぼ確実に予防できるようになる）

2000年以降に生まれた方は、2回の定期接種を受けている可能性が高いのですが、それ以前に生まれた大人の方も注意が必要です。



今、できること（ご家庭での対策）



母子健康手帳で接種歴をご確認ください（2回接種が基本）

1回のみ接種、または未接種の場合は、感染するリスクが高まります。



未接種・不明な場合は、かかりつけ医へご相談ください

MRワクチンの定期接種を受けていない2歳~18歳の方は、区の任意接種事業により**無料で接種**を受けることができます。



発熱や発しんがある場合は、事前に医療機関に連絡のうえ受診してください

受診時は、周囲に感染を広げないための配慮が必要です。



今月のひとこと

ワクチンは0歳の赤ちゃんや病気などの様々な事情で受けられない方もいます。自分だけでなく、ワクチンを打てない人を守る視点でも、感染拡大防止のために、未接種の方は接種をご検討いただければ幸いです。
（区からの通知をご参照ください）

